

**第14号****申4号**

発行日

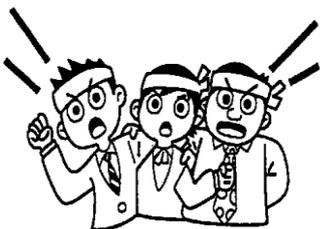
2018. 9. 10

*Super  
Highway***スーパーハイウェイ****JR東労組バス関東本部**発行責任者：遠山真一郎  
編集責任者：大枝隆寿  
東京都渋谷区代々木2-2-6  
JR新宿ビル13F  
Tel03-3375-5045 (NTT)**申4号「山陽本線列車代行輸送  
に関する申し入れ」おこなう！**

2018年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とする広い範囲で台風7号および梅雨前線等の影響により各地において記録的な集中豪雨となり、甚大な被害がもたらされました。特に中国地方の被害は甚大で、現在でも鉄道やバスの運行に大きな影響を与えています。

そのなかでJRバス関東本部は、会社からJR西日本が運行する山陽本線三原駅から白市駅区間の列車代行輸送を2018年9月10日から12月下旬まで実施する説明を受けました。JR東労組は東日本大震災や新潟中越地震をはじめとした数々の自然災害を経験した中で列車代行輸送は社会的使命と受け止め、最大限協力する体制を確立していきます。しかし当初の会社から受けた説明よりも長い勤務への変更や休息環境への不安、組合員の経済的負担等を鑑み、輸送開始までの労使間議論によって安心して働ける事前の環境整備が必要不可欠と考えます。2018年度の夏季輸送は慢性的な要員不足と乗務員の高齢化が進むなか、度重なる拘束時間超過や重大事故になりかねない事象等多くの課題を残しました。特に今年は歴史的な猛暑のなか組合員の疲労は蓄積されています。今回の列車代行輸送は万全の準備によって実施され現地に派遣される組合員の安全と健康を担保し、そして長期勤務による精神的負担を軽減させなくてはなりません。

JRバス関東本部は、山陽本線列車代行輸送を期間終了まで安全・安定輸送を確保し、組合員が安心して働ける体制を確立するために、以下のとおり申し入れました。

**スーパーハイウェイ14号 次ページへつづく↓**

## ↓スーパーハイウェイ14号 前ページより

1. 山陽本線列車代行輸送（以下、列車代行という）の概要を明らかにすること。
2. 在宅休養の観点から列車代行の勤務日数を最小限にすること。
3. 現地での点呼や日報の取り扱い方法、ならびに異常時における対応を明確にすること。
4. 列車代行の勤務明示を循環交番明示と同時に行い、準備期間に列車代行を担う組合員に十分な説明をおこなうこと。また勤務に変更が生じた場合は事前に当該組合員へ周知すること。
5. 遠隔地での連泊による経済的負担を軽減させるために、食事代・洗濯代を補助すること。
6. 十分な休息を確保するため、宿泊は一人一部屋の個室とすること。
7. 一日の労働時間が所定労働時間に満たない場合は、7時間10分を補償すること。

以上

**安全・健康  
働きがいと  
社会に貢献する  
JRバス関東の  
実現を目指そう！**

